令和7年度の各部の重要施策

部名：　学校教育部

事業名	児童生徒カウンセリング事業
決算額	641万円
事業の目的	児童生徒へのカウンセリング、教員・保護者への助言等により、児童生徒の心の悩みの深刻化やいじめ・不登校等の未然防止、早期発見及び対応を図ります。
事業内容	本年度より網走市専任のスクールカウンセラー１名を任用し、小学校における巡回カウンセリングの対応強化を図ります。 　中学校においては、引き続き道費負担のカウンセラーによる巡回対応を行います。
目標値（KPI）	・道教委調査（SC活用状況に係る調査）における、合計相談対応人数に対し「相談後、状況が好転した」人数の割合が75%以上。
目標値（KPI）の結果	・道教委調査（SC活用状況に係る調査）における、合計相談対応人数に対し「相談後、状況が好転した」人数の割合が96%。
取り組み実績と効果	次の相談実績があり、9割以上は相談後に状況が好転しています。 ・小学校SC　相談人数：年間延べ232人／1,820時間、配置人数：1名（常勤） ・中学校SC　相談人数：年間延べ230人／1,443時間、配置人数：4名（時間勤務）
成果と課題 （次年度に向けて）	引き続き、児童・生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言等を行い、学校における教育相談体制の充実を図ります。